

〈5〉 2017年10月3日(火) 夕

学校・子ども

熱中 部活 Do! 170

心を満たす実践的な活動

生12人の計38人が一緒に活動する。全員、実験や観察が大好きで、好奇心と挑戦心を持つて科学の不思議を追求する。これまでグエン酸やビタミンC、ブドウ糖などの配合を変えてオリジナルスポーツドリンクを作ったり、煮詰めた砂糖に重曹を加えると膨張する化学反応を利用してカルメ焼きを作ったり。生物の解剖

夏休みには、信大理学部の学生らと薄川の生態系を調査研究。9月末の秀峰祭では、採取した昆虫の標本やフナ、カジカなどを生きたまま展示するミニアクアリウムを企画した。

林徹郎副部長(5年)は「解剖など教科書では学べない実践的な活動ができる興味深い」。松沢龍部長(同)は「設備が充実し、実験環境が整っているところが強み。部員の知的探求心を満たしてくれた」。

松本秀峰中等教育学校(松本市)科学部

前身の医学生物部から、学科全般を扱う部として本年度再スタート。中高一貫校で1～3年生26人、4、5年



標本を手にする部員たち。実験では白衣を着る